



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日  
東

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所  
コード番号 9709 URL http://ncsa.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木 謙吾  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務 (氏名) 山口 満之 (TEL) (06)6946-1991  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,183	1.5	△360	—	△329	—	△488	—
29年3月期第3四半期	12,988	△2.2	△171	—	△60	—	△78	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △401百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △29百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△26.48	—
29年3月期第3四半期	△3.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,266	9,242	60.5
29年3月期	16,305	9,884	60.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 9,242百万円 29年3月期 9,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	2.2	200	71.9	250	△12.4	160	△41.5	8.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	20,000,000株	29年3月期	20,000,000株
30年3月期3Q	1,596,283株	29年3月期	1,348,643株
30年3月期3Q	18,446,562株	29年3月期3Q	19,926,249株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、個人消費や民間の設備投資も緩やかに持ち直すなど、引き続き回復基調が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、国内景況感の改善にともない企業のIT投資は引き続き堅調に推移してまいりました。特に、AI、IoT、ビッグデータ、RPA等の技術による生産性向上、需要創出、社会的課題の解決等の取り組みは既に実用段階に入っており、その適用分野は今後も拡大していくものと予想されております。

このような環境のもと、当社グループは、安定した収益基盤の確立に向け、ホテル業向け予約システム「i-honex（アイホネックス）」、システムの可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」、金融業向け個人信用情報接続ソリューション「Cems（シー・シー・エム・エス）」等の自社製品の機能強化と販売拡大に取り組んでまいりました。また、既存顧客のさらなる深耕に注力し、中堅製造業向け生産管理システムや流通業向け販売管理システムの導入、その他基幹業務システムの開発やマイグレーションの受託など、受注状況は好調に推移いたしました。

AIを活用したサービスとしては、IBM Watson（多様なAPIとWatson Explorer）を利用した業務イノベーション支援サービスに取り組んでおります。具体的には、問合せに自動応答するチャットボットでの作業自動化、質問・回答のための膨大な情報の分類・検索による知識活用、消費者要望の分析によるマーケティングへの活用等について、既存顧客へのサービス提供を進めております。また、自社製品へ統計解析及び機械学習を組み込み、複数顧客への試行を通じて付加価値の高いサービスの検討を行っております。

政府が推進する『働き方改革』の実現に向けては、現在までに取り組んできた「時間外労働の縮減」、「有給休暇の取得促進」だけでなく、勤務形態の多様化やさらなる生産性向上に向けた業務効率化に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は131億83百万円（前年同四半期は売上高129億88百万円）となりました。利益面につきましては、納期遅延による一部の不採算プロジェクトの影響が大きく、営業損失は3億60百万円（前年同四半期は営業損失1億71百万円）となりました。また、経常損失は3億29百万円（前年同四半期は経常損失60百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億88百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失78百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は152億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億39百万円減少いたしました。流動資産は118億44百万円となり、11億63百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(11億89百万円)等であります。固定資産は34億22百万円となり、1億23百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の増加(29百万円)、無形固定資産の増加(1億35百万円)、投資有価証券の減少(70百万円)等であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は60億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億96百万円減少いたしました。流動負債は26億77百万円となり、4億円減少いたしました。主な要因は、賞与引当金の減少(2億19百万円)、未払法人税等の減少(1億20百万円)、未払金の減少(1億3百万円)等あります。固定負債は33億46百万円となり、3百万円増加いたしました。主な要因は、リース債務の増加(34百万円)、退職給付に係る負債の増加(48百万円)、長期借入金の減少(49百万円)、長期未払金の減少(30百万円)等あります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は92億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億42百万円減少いたしました。主な要因は、第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(4億88百万円)、配当金の支払による利益剰余金の減少(1億49百万円)等あります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.6%から60.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成29年11月1日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,312,639	7,075,854
受取手形及び売掛金	4,543,639	3,354,448
有価証券	2,651	220,117
商品及び製品	218,370	206,462
仕掛品	377,313	589,444
繰延税金資産	297,413	116,692
その他	255,436	281,218
貸倒引当金	△311	△188
流動資産合計	13,007,152	11,844,048
固定資産		
有形固定資産	293,809	322,853
無形固定資産	513,069	649,065
投資その他の資産		
投資有価証券	1,051,092	980,646
繰延税金資産	916,463	904,390
差入保証金	243,937	261,168
その他	350,649	374,584
貸倒引当金	△70,291	△70,291
投資その他の資産合計	2,491,852	2,450,498
固定資産合計	3,298,731	3,422,416
資産合計	16,305,884	15,266,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,004	494,445
1年内返済予定の長期借入金	128,336	69,412
リース債務	67,318	73,554
未払金	1,244,137	1,141,046
未払法人税等	147,076	26,814
繰延税金負債	315	—
賞与引当金	407,027	187,605
役員賞与引当金	10,450	—
受注損失引当金	51,283	93,277
その他	543,024	591,602
流動負債合計	3,077,974	2,677,757
固定負債		
長期借入金	83,392	33,415
リース債務	106,116	140,832
退職給付に係る負債	3,101,609	3,150,288
長期未払金	51,970	21,970
固定負債合計	3,343,088	3,346,505
負債合計	6,421,062	6,024,262
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	5,799,356	5,799,651
利益剰余金	707,439	69,672
自己株式	△352,436	△444,938
株主資本合計	9,929,460	9,199,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,095	196,771
為替換算調整勘定	44,919	11,402
退職給付に係る調整累計額	△182,653	△165,456
その他の包括利益累計額合計	△44,638	42,717
純資産合計	9,884,821	9,242,203
負債純資産合計	16,305,884	15,266,465

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,988,079	13,183,047
売上原価	10,154,420	10,400,605
売上総利益	2,833,658	2,782,442
販売費及び一般管理費	3,005,187	3,142,707
営業損失(△)	△171,528	△360,265
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,609	20,020
有価証券評価益	70,350	—
保険解約返戻金	20,008	—
その他	15,589	12,196
営業外収益合計	122,557	32,217
営業外費用		
支払利息	7,169	1,767
投資有価証券評価損	4,157	—
その他	103	114
営業外費用合計	11,430	1,881
経常損失(△)	△60,401	△329,929
特別利益		
関係会社清算益	—	34,418
特別利益合計	—	34,418
特別損失		
訴訟関連損失	—	32,200
特別損失合計	—	32,200
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,401	△327,711
法人税、住民税及び事業税	3,270	20,664
法人税等調整額	15,223	140,181
法人税等合計	18,494	160,845
四半期純損失(△)	△78,896	△488,556
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,896	△488,556



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△78,896	△488,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,895	103,675
為替換算調整勘定	△10,641	△33,517
退職給付に係る調整額	18,202	17,197
その他の包括利益合計	49,456	87,355
四半期包括利益	△29,439	△401,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,439	△401,200
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。